

2025年4月1日
2024年2月28日改訂

学生の皆さんへ

生成 AI 利用ガイドライン
(旧：Chat GPT など生成系 AI の利用について)

人間科学研究科長 奥山 倫明
国際協力研究科長 河野 毅

生成 AI は近年急速に台頭し、普及し始めた新技術です。生成 AI をどのように利用するかで、今後の私たちの生活や学修・教育活動は大きく変貌する可能性があります。応用範囲は広大です。生成 AI を活用することで、様々な作業の効率化を図ることが期待されます。

しかし、始まったばかりの技術は、利便性ばかりではなく、当然危険も伴います。簡単に利用できるからこそ、その危険性を熟知しておく必要があります。学生の皆さんにおかれましては、その可能性と危険性を十分認識した上で活用していかれることを望みます。

本学では、2023年6月9日に「Chat GPT など生成系 AI の利用について」(以下、「2023年6月ガイドライン」)を学生および教職員向けに配信し、2023年7月21日に「東洋英和女学院大学における生成系 AI の使用に関する指針」(以下、「本学指針」)を学内外に公表しました。このガイドラインは、学修・教育において生成 AI を利用する際の具体的な注意事項を示すために、「本学指針」や学内での議論をふまえて「2023年6月ガイドライン」を改訂したものです。学修活動において生成 AI を利用する際には、以下の事項に注意してください。

生成 AI とは

本ガイドラインにおける生成 AI とは、大規模言語モデルに基づき、利用者の指示に応じて文章や画像等を生成する AI を指します。具体的には、下記のようなサービスなどが該当します。他にも AI を使用したツールやサイトが次々に登場することが予想されます。

- ・ ChatGPT (OpenAI 社)
- ・ Bing (Microsoft 社)
- ・ Gemini (Google 社)
- ・ Stable Diffusion (Stability AI 社)
- ・ Midjourney (Discord 社)
- ・ Leonardo AI (Leonardo Interactive 社)
- ・ Sea Art AI (Star Cluster 社)
- ・ Vrew (VoyagerX 社)

学修・教育における活用

- ・生成 AI が活用できる場面としては、ブレインストーミング、情報収集、文書の要約、校正、翻訳、プログラミング、プレゼンテーション生成、イラストや写真の生成等の補助が考えられます。
- ・生成 AI の種類により、生成される情報の質に差が生じる可能性があります。
- ・生成 AI の種類によっては、利用登録の際に生年月日等の個人情報を求められることがあります。利用者本人の責任で登録してください。
- ・授業等における生成 AI の利用については、各科目の方針や到達目標に応じて判断が異なるため、学生は各授業担当者の指示に従ってください。

レポート・論文等での評価

- ・レポート・課題・論文作成等で生成 AI を利用しようとする場合は、生成 AI の利用が許可されるかを担当教員に確認してください。
- ・生成 AI で出力された内容を、許可なくレポート・課題・論文作成等に用いることは研究倫理上の問題を引き起こす可能性があるだけでなく、剽窃にあたり不正行為と判断される場合があります。
- ・授業で示された方針に反して生成 AI による生成物を提出していることが判明した場合、学則に照らし処分の対象となることもありますので、授業担当者の指示に従い十分注意してください。

個人情報・機密情報の扱い

- ・生成 AI に個人情報や機密情報等を入力しないでください。
- ・生成 AI では利用者が入力した内容が学習データに用いられ、それらが別の回答等で使用され、情報流出につながる恐れがあります。
- ・生成 AI の種類によっては、入力内容を生成 AI の学習に使用させないよう設定（オプトアウト）することができますが、その場合でも入力内容は一定期間保存されます。
- ・利用する生成 AI の利用規約等で入力内容がどのように使用されるかを確認してください。

著作権への留意

- ・生成 AI による生成物には著作権を侵害する内容が含まれることがあります。これを用いると意図せずとも剽窃にあたる可能性があります。
- ・生成 AI の利用に伴って生じた不利益や損害等には、利用者本人が責任をもって対応しなければなりません。リスクを正しく理解するように努めてください。

情報の信頼性の確認

- ・生成 AI による生成物には虚偽が含まれている場合やバイアスがかかっている場合があります。

- ・出力された内容が信頼できるものであるのか、利用者が根拠を確認してください。
- ・出力された内容が偏った価値観による内容や差別的内容になっていないかを確認してください。

生成 AI への理解を深める必要性

- ・生成 AI を効果的に利用するためには、生成 AI の問題点や限界を理解し、生成 AI を効果的かつ適切に利用するためのリテラシーを身につけることが大切です。
- ・各自でも情報を収集し、生成 AI に関する課題について理解を深めるようにしてください。

生成 AI については今後も様々な状況の変化が生じることが予想されます。それに応じて「本学指針」や本ガイドラインにも変更が生じる可能性があります。変更が生じた場合は、その都度お知らせします。

以上